



プレスリリース: 2012年04月05日
トピック: 新製品情報

シンクライアントのフラッグシップモデルを発表

- 第2世代AMD Fusion APU、TPMモジュール搭載で、優れたパフォーマンスとセキュリティ機能を実現、多用途に活用できるシンクライアント -

2012年4月5日

日本ヒューレット・パッカード株式会社

日本ヒューレット・パッカード株式会社(略称:日本HP、本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員:小出 伸一)は、ハイパフォーマンスで多用途に活用できるシンクライアント端末「HP t610 Thin Client(以下、t610)」、「t610」を拡張した筐体にシリアル、パラレルポートやPCI Expressカードスロットを備え、4画面出力にも対応する「HP t610 PLUS Thin Client(以下、t610 PLUS)」を発表します。

「t610」は、AMD Fusion APUによる優れたパフォーマンスと充実のセキュリティ機能を備え、従来のシンクライアント端末の用途を越えて、幅広いニーズに対応するシンクライアントのフラッグシップモデルです。グラフィックス性能の高い仮想化端末としてCAD、金融ディーラーなどのお客様に最適なほか、デジタルサイネージや医療分野の専用端末、公共施設や店頭でのクラウド端末としても活用できます。

新製品は、日本HP直販営業、日本HP販売代理店を通じ、本日から販売を開始します。

製品名:「HP t610 Thin Client」、「HP t610 PLUS Thin Client」

構成	販売価格(税込)	販売開始日
HP t610 ThinPro 1GFlash/2Gメモリ	44,100円	4月5日
HP t610 Smart Client 1GFlash/2Gメモリ	44,100円	4月5日
HP t610 W2009 2GFlash/2Gメモリ	53,550円	4月5日
HP t610 W2009 2GFlash/2Gメモリ WiFi	58,800円	4月5日
HP t610 WES7 16GFlash/2Gメモリ	56,700円	4月5日
HP t610 WES7 16GFlash/2Gメモリ WiFi	61,950円	4月5日
HP t610 PLUS WES7 16GFlash/2Gメモリ	71,400円	4月5日
HP t610 PLUS WES7 16GFlash/2Gメモリ/Quad	81,900円	4月5日

*ThinPro: HP ThinPro
W2009: Windows® Embedded Standard 2009
WES7: Windows Embedded Standard 7
Quad: 4画面出力対応

「t610」の主な特長は以下の通りです。

《シンクライアントの域を超えたハイパフォーマンス》

「t610」は、プロセッサに第2世代AMD Fusion APUを搭載し、仮想デスクトップ環境でもPCと同様の快適なパフォーマンスを実現します。また、グラフィックス機能はAMD Radeon™ HD 6320を搭載することで、H.264やWMVなどのハードウェアコーデックに対応し、WMVファイルの再生能力は従来モデル(「t5740e」)と比較して約1.6倍(*1)と、大幅な性能向上を実現しました。その他、PCIカードスロットを搭載した「t610 PLUS」であれば、DVI-I×2のビデオカードを使って4画面出力にも対応可能なほか、高速SSD(16/32GB)を搭載することが可能です。

たとえば、営業時間中はSSDに保存した映像コンテンツやアプリケーションを使って、デジタルサイネージ端末として利用し、閉店後は本社サーバーに接続して売上データを送信するセキュアな仮想化端末として活用するなど、「t610」であれば、その高い性能を活用した幅広い用途での利用が可能です。

《UEFIベースBIOSとTPMモジュールによる強固なセキュリティ》

「t610」は、シンクライアントとしては初となる、NIST(*2)のガイドライン基準を満たすUEFI(*3)ベースのBIOSとTPMモジュール

を搭載しました。BIOSとTPMモジュールの連携により、外部からの情報改ざんなど、不正アクセスを防ぎます。また、従来モデル(「t5740e」)の約60%の時間でスピーディな起動を実現しているほか、リモートからのBIOS管理にも対応しています。

《柔軟なリパーパス(利用環境の変更)に対応する充実のラインアップ》

「t610」には、セキュアなHP独自OS「ThinPro」搭載モデル、OSレスで管理不要のSmart Clientモデル、Windows対応アプリケーションが使えるWindows Embedded Standard 7 (WES7)モデルやWindows Embedded Standard 2009(WES2009)モデルなど、用途に応じた多彩なラインアップを用意しています。また、WESモデルを導入すれば、後からSmart Client化することや、OSをThinProに変更することも可能なため、ハードウェアを買い直すことなく、業務の変化に柔軟に対応できます。

*1: Windows Media Playerで1,080pのWMVファイルを再生した際の、フレームレートの比較。日本HP調べ。

*2: National Institute of Standards and Technology(米・国立標準技術研究所)。

工業技術の規格標準化を行っている米国の政府機関で、BIOS保護のガイドラインも策定している。

*3: Unified Extensible Firmware Interface。UEFIフォーラムによって策定された、従来のBIOSに代わるファームウェアの仕様。暗号化、ネットワーク認証などが機能強化され、グラフィカルなユーザーインターフェイスを備える。

■ 新製品スペック一覧表は以下のURLを参照してください。

HP t610 Thin Client: <http://www.hp.com/jp/t610>

■ 製品写真ライブラリ

(画像データは以下のURLからご覧になれます)

http://www.hp.com/jp/business_thinclient_pr

#

文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ お客様からのお問い合わせ先

カスタマー・インフォメーションセンター TEL: 0120-436-555

ホームページ: <http://www.hp.com/jp/>
